NIE実践報告

1．タイトル：「人権と共生社会」で学んだことを活かし、新聞記事から小論文に書いてみよう

２．学校名

京都府宮津市立養老中学校

３．実践者名（代表者名）

小巻　正敏

４．学年

第３学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科　１０人

６．単元（本時の学習課題）名

人権と共生社会

７．目標(狙い)

新聞などで身の回りにある基本的人権に関する問題を見つけ、テーマを設定し、各種の資料を調べ、小論文としてまとめる。

８．評価の視点

・新聞記事から人権関連記事を探し、小論文が書ける。
・書いた小論文を交流し、相互評価を行い、推敲し、加筆・修正を加えることができる。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

第3学年社会科公民的分野「人権と共生社会」を１０時間（本時は１０時間目）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

（１）平等権、自由権、社会権、基本的人権を守るための権利、新しい人権、国際社会と人権を学習する。
（２）新聞記事を用いて、学んだ人権について興味・関心のあったものに関する記事を探す。
（３）人権に関する新聞記事から５Ｗ１Ｈに沿ってまとめる。
（４）まとめたを、①あらまし、②問題提起、③賛成か反対か、④反対意見の考慮、⑤反対意見への批判、⑥根拠・説明、⑦具体例、⑧まとめの順にワークシートに記入し、小論文を書く。
（５）書いた小論文をグループ内で読み、相互評価を行い、意見を参考に文章を推敲する。

【留意点】
・社会科が苦手な生徒には、人権関連記事を探せるように支援する。
・作文と小論文の違いをしっかり理解させた上での取組とする。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・　新聞記事を活用することによって、社会の出来事や動きについて自分の意見をしっかり持てるようになった。そして、前よりたくさん興味を持って新聞を読むことができるようになった。

12．成果と課題

・前年度もこの学年の「選択社会」で新聞を読んで小論文を書いたが、社会科以外の教科（国語・総合的な学習の時間等）で取り組むことによって、内容の濃い小論文が出来上がった。やはり、継続して取り組むことの大切さが必要であることが分かった。
・新聞の情報を読み取る力や新聞記事から社会科の課題を読み取る力が付いた。
・この他にも本校では、「１分間スピーチ」や「コラムを読んで」などの取組を通して、生徒達の間に文章を書くことに対する自信が見られるようになってきた。